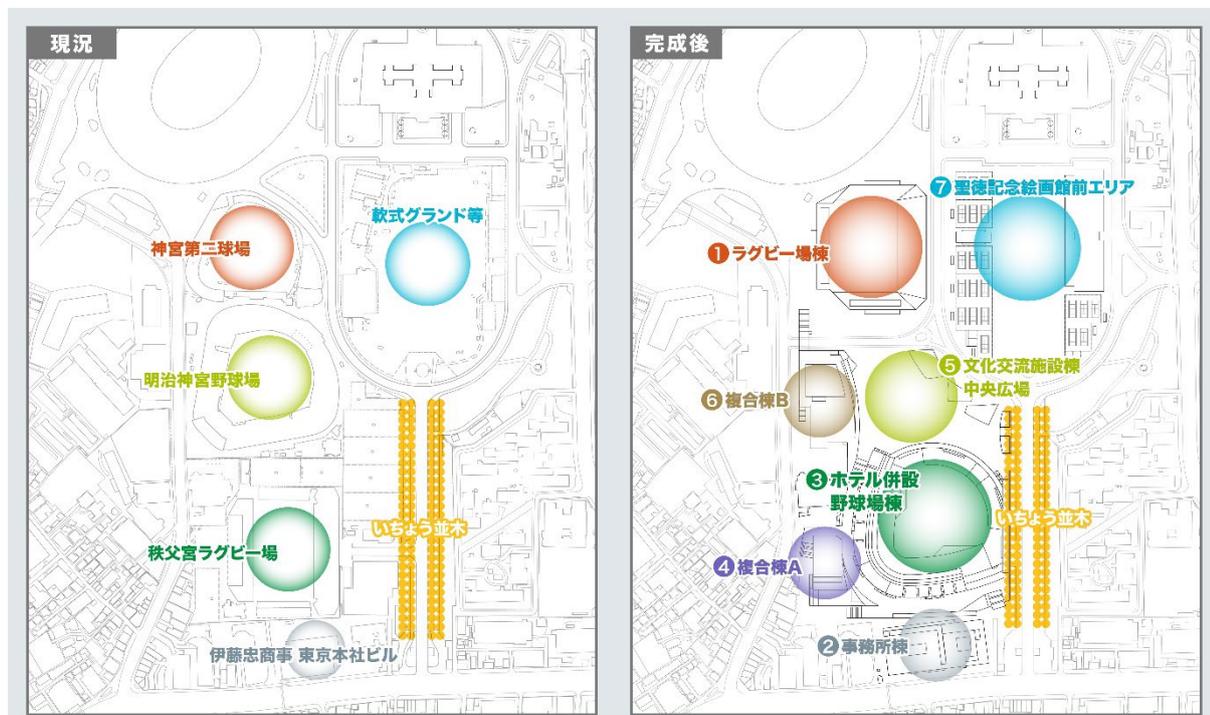


## 神宮外苑地区まちづくりの計画概要・今後の取り組み方針について

### 1. 計画概要

#### ■配置図



※配置図はイメージとなります。一部縮尺が正確ではない部分がございます。

## ■各エリアの概要 ※1

施設	① ラグビー場棟	② 事務所棟	③ ホテル併設 野球場棟	④ 複合棟A	⑤ 文化交流施設棟 中央広場	⑥ 複合棟B	⑦ 聖徳記念 絵画館前エリア (※1)
場所	現第二球場周辺	現伊藤忠商事 東京本社ビル	現秩父宮ラグビー場周辺		現明治神宮野球場周辺		現軟式 グラウンド周辺
主な用途	ラグビー場、店舗、 文化交流施設 等	事務所、店舗 等	野球場、店舗 宿泊施設(ホテル) 等	事務所、店舗 等	文化交流施設、 店舗、広場 等	サービスアパートメント、 室内球技場 等	広場、テニスコート 等
延床面積	約76,700㎡	約213,000㎡	約115,700㎡	約127,300㎡	約2,000㎡	約30,300㎡	—
階数 高さ	地下1階 地上7階 約55m	地下5階 地上38階 約190m	地下1階 地上14階 約60m	地下2階 地上40階 約185m	地上1階 約6m	地下1階 地上18階 約80m	—
事業主体	日本スポーツ 振興センター(※2)	伊藤忠商事	[野球場]明治神宮 [ホテル]三井不動産	三井不動産	三井不動産	三井不動産	明治神宮
完成予定	2028年	2028年	2032年	2032年	2035年	2035年	2036年

※1:各エリアの概要については、2023年2月17日に施行認可を受けた「神宮外苑地区第一種市街地再開発事業」の施行認可申請時の内容となります。⑦聖徳記念絵画館前エリアは「神宮外苑地区第一種市街地再開発事業」および「東京都環境影響評価」の対象外ですが、同時期に整備を行うため「神宮外苑地区まちづくり」として記載しております。

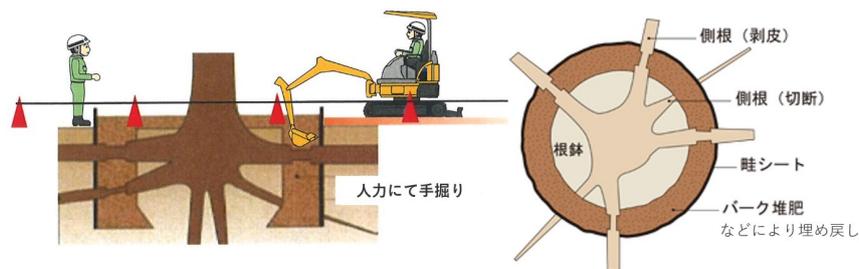
※2:ラグビー場棟に係る施行者は、独立行政法人日本スポーツ振興センターから要請を受けた独立行政法人都市再生機構となります。また、ラグビー場棟については、独立行政法人日本スポーツ振興センターがPFI手法により整備することとしており、PFI事業者にて整備計画を検討しております。なお、2028年(予定)にて一期工事が完了し供用を開始いたしますが、二期工事は2034年完成予定です。

## ■ 樹木への対応状況について

- ・ラグビー場棟整備予定地において、2023年3月下旬より始まる明治神宮第二球場解体工事に向け、樹木の移植準備処置として2023年2月17日に根回し作業※に着手し、今後一部低木の伐採作業等も行っております。樹木の移植が予定されているそれぞれの計画地においても、適切な準備作業を行い、移植後に樹木が健全に育つよう丁寧に対応いたします。
- ・ホテル併設野球場棟整備(2028年新築工事開始予定)に向け、いちよう並木の根系調査を実施しております。根系調査報告書は本年春以降に東京都環境影響評価審議会総会にて事後調査報告を行うとともに、本サイト等を通じて公表する予定です。ホテル併設野球場棟の基本・実施設計前に本調査を行うことで、いちよう並木の保全のために必要な設計・施工内容を精査できるようにいたします。
- ・さらなる樹木の保全のため、聖徳記念絵画館前エリアにおける設計上の工夫により、保全・移植対象樹木を可能な限り増やすことを検討しております。
- ・神宮外苑地区まちづくりの中でやむを得ず伐採した樹木は、ベンチや木質歩道とするなど、可能な限り活用することを検討いたします。

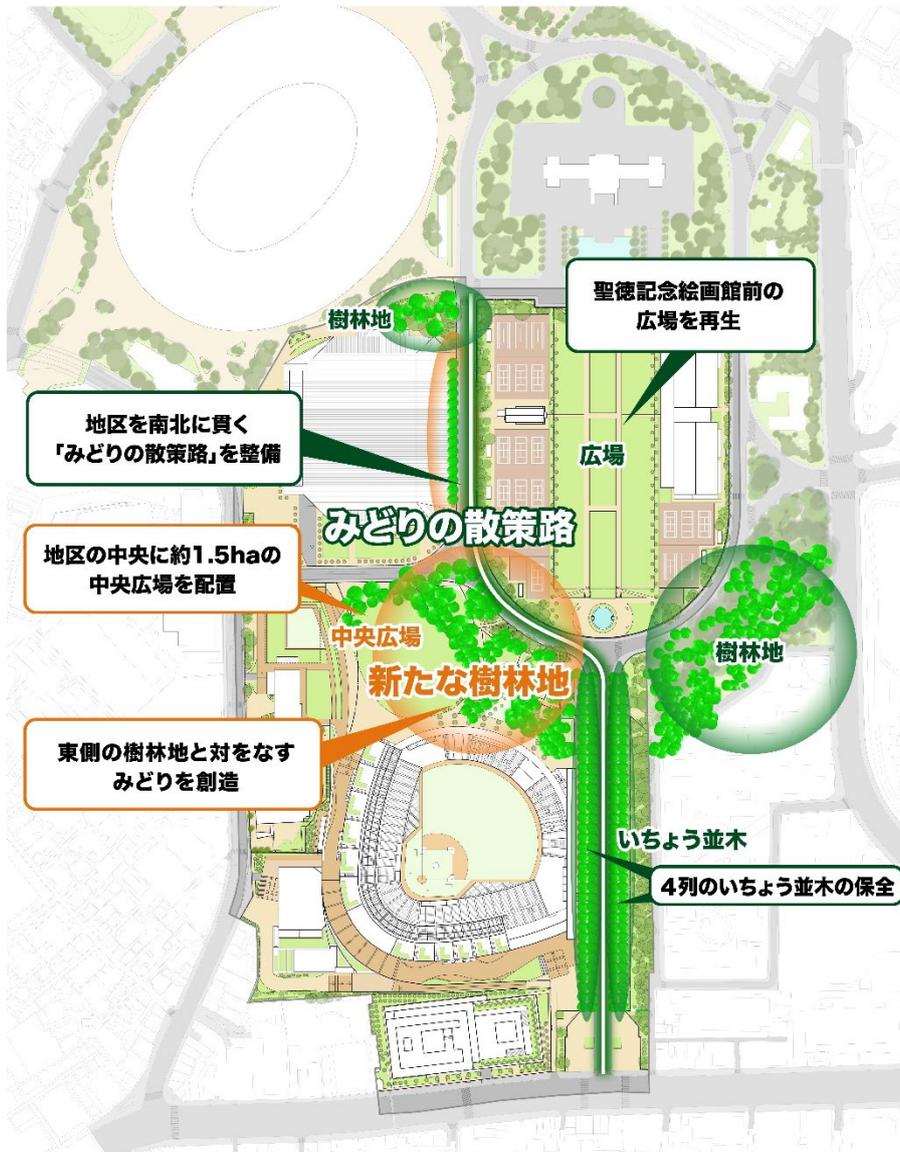
### ※「根回し作業」の概要

根回し作業は、移植後も樹木を良好に根付かせるために一般的に用いられる手法であり、樹木移植に先立って行う一連の準備作業として、事前に移植樹木の根の周囲を掘って、主根と大きな側根を残し、その他の根を切ったうえで堆肥等の土を埋め戻し、細根の発生を促す処置になります。樹木は根から水分や栄養摂取を行うため、あらかじめ根回し作業を行って細根を発生させることが、移植後に良好に根付いて生育するために重要になります。本プロジェクトでは環境影響評価書に沿って、樹木医など専門家の指導を仰ぎながら、主要な根は重機で傷つけないよう、人力にて細心の注意を払って手掘りいたします。また根回し作業が完了した後は、適切に管理を行いながら、発根のために夏季をまたいで秋以降に移植する計画となっております。



## 2. みどりの継承と創造への取り組み

みどりの整備にあたっては、引続き、東京都環境影響評価審議会総会(以下「アセス審議会」)へ提出した事後調査計画書に沿って、適切な時期にアセス審議会でご報告し、頂いたご意見を踏まえながら対応してまいります。



※画像はみどりの整備計画のイメージです。

- 4列のいちよう並木は全てを保全、聖徳記念絵画館前の広場の再生とあわせて、いちよう並木から聖徳記念絵画館を望む景観を後世に継承。
- ホテル併設野球場棟とラグビー場棟の間に中央広場を整備、オープンスペースの増加に寄与するとともに、広場に隣接するエリアへの移植・新植によって東側の樹林地と対をなす「新たな樹林地」を創出。
- 神宮外苑の魅力に親しむことができる象徴的なゾーンとして、地区を南北に貫く「みどりの散策路(2028年以降完成予定)」を整備するとともに、歩行者の回遊性向上に寄与。
- 神宮外苑地区の新たなみどりを皆で創り楽しむ取り組みとして、タウンマネジメント団体の組成と、市民参加型の植樹イベントや市民から樹木の寄贈を募る献木などの施策の実施を予定。

### 3. 国際的なスポーツ拠点の形成への取り組み

本プロジェクトでは、様々な施設の整備を通じて次の100年につながる国際的なスポーツ拠点の形成に寄与します。



※提供: 秩父宮ラグビー場株式会社



※計画段階のため変更の可能性がございます。

- 明治神宮野球場や秩父宮ラグビー場など老朽化が進む既存施設を、競技の継続に配慮しながら段階的に建て替え
- 合宿・キャンプ利用、プロ選手の試合前やオフシーズンの利用、部活動や大会など多様なイベント利用を想定し、複合棟 B には室内球技場や宿泊施設等を整備
- 各施設において、車いす観戦席の拡充など施設のバリアフリー化を推進
- 各施設を、中央広場をはじめとするイベント利用可能な広場やにぎわい施設と一体的に整備・運用することにより、スポーツ施設での試合がない日でも人々が訪れる賑わいある空間を形成、交流やアクティビティの機会増進などを通じて多角的にスポーツ機能を拡充

### 4. 安全安心なにぎわい形成への取り組み

本プロジェクトでは多様な施設や取り組みを通して、多くの人々に安心して神宮外苑地区の魅力に親しんでもらうことを目指しております。



※中央広場イメージパース



- 中央広場に災害時の避難・救助に活用可能なマンホールトイレや非常用電源などの確保を計画
- 事務所や宿泊施設にも帰宅困難者滞在機能を配置し、地域の防災性の向上に寄与
- ホテル併設野球場棟、ラグビー場棟などを結ぶ動線沿いには店舗や交流施設、スポーツ施設との一体的な利用が可能な宿泊施設を導入し、試合のない日にもにぎわい溢れる空間を形成
- 青山通りやスタジアム通り沿道には、複合棟 A・事務所棟など都心立地などの特性を活かした商業・業務機能を配置し、地区全体での拠点性の高いまちづくりに寄与

- 広場や緑地の整備に加え、歩車分離やバリアフリー化などを考慮した歩行者ネットワークを形成、安心安全な歩行者空間を確保するとともに、回遊性を向上
- 各施設の完成前の時期を含め、スポーツ・文化・芸術の発信や人々の交流を促す市民参加イベント等の定期的な開催によるにぎわいを形成

## 5. 本サイトのリニューアルについて

本サイトは 2023 年春にリニューアルを予定しております。これまで通り随時発信を行い、情報公開に努めてまいります。併せて、今後のタウンマネジメント活動についても積極的に発信いたします。

以 上